

節電に関するアンケート調査結果

新産業・エネルギー振興課

1 調査目的

当県では、夏の電力需給に対応するため、例年、無理のない範囲での節電をお願いしておりました。今後の節電対策に備えるための基礎資料とさせていただくため、平成28年夏の節電計画をお聞きしました。

2 調査対象など

調査対象：県政モニター261人（インターネットモニターのみ）

調査方法：インターネット

調査期間：平成28年4月18日～5月2日

回収結果：160人（回収率61.3%）

その他：構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

・夏の節電計画全般について

節電に関する各取組（問1から問7）について前年と比較すると、「問5 温水便座」と「問7 待機電力」以外の5項目で節電の取組を行う意向の回答が増加し、節電行動に取り組む意識が着実に向上していると考えられる。

また、全体としての節電意識（問8）を見ると、「昨年以上または昨年並みの節電に努める」が91.9%と前年の90.3%からさらに伸びている。今後、この意識を実際の行動に結びつける施策や啓発活動を検討していく必要がある。

・節電行動への取組について

節電対策として県民の皆さまにお願いしている「無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う」（問1）については、77.5%と前年の75.2%に対して上昇し、より習慣として定着してきたと考えられる。

また、冷蔵庫、照明、テレビなどに関する節電行動の取組計画は昨年と比較して微増の項目が多く、より節電行動が定着していると考えられる。

・節電意識の定着について（東日本大震災前と比較して）（問9）

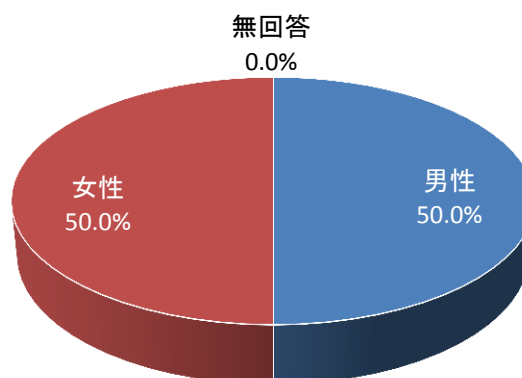
節電意識が定着したとの回答が合計90.1%となり、前年の83.2%からさらに増加した。

今回は九州で発生した地震後のアンケート実施のため、東日本大震災時の電力不安への懸念を想起した可能性もあるが、今後も節電行動をより定着するべく啓発活動を行う必要がある。

4 回答者の属性

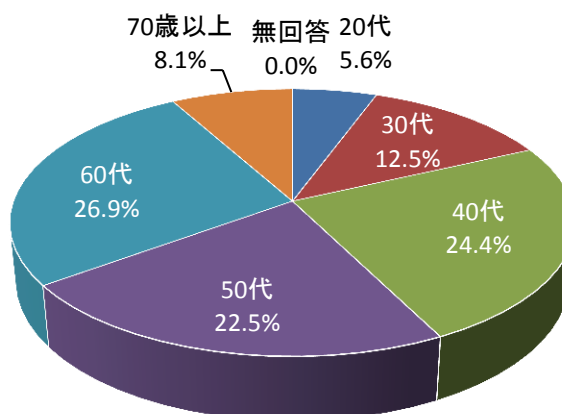
性別

	人数	構成比
男性	80	50.0%
女性	80	50.0%
無回答	0	0.0%
合計	160	100.0%



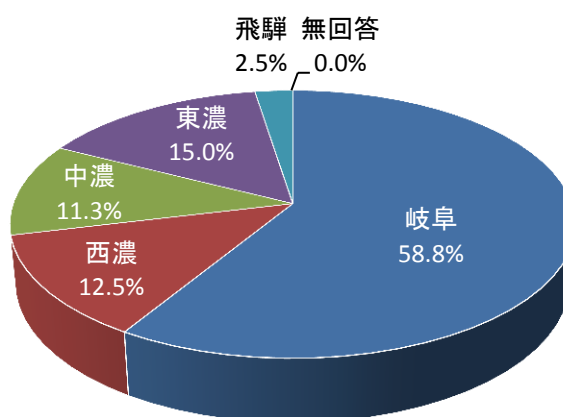
年代別

	人数	構成比
20代	9	5.6%
30代	20	12.5%
40代	39	24.4%
50代	36	22.5%
60代	43	26.9%
70歳以上	13	8.1%
無回答	0	0.0%
合計	160	100.0%



居住圏域別

	人数	構成比
岐阜	94	58.8%
西濃	20	12.5%
中濃	18	11.3%
東濃	24	15.0%
飛騨	4	2.5%
無回答	0	0.0%
合計	160	100.0%

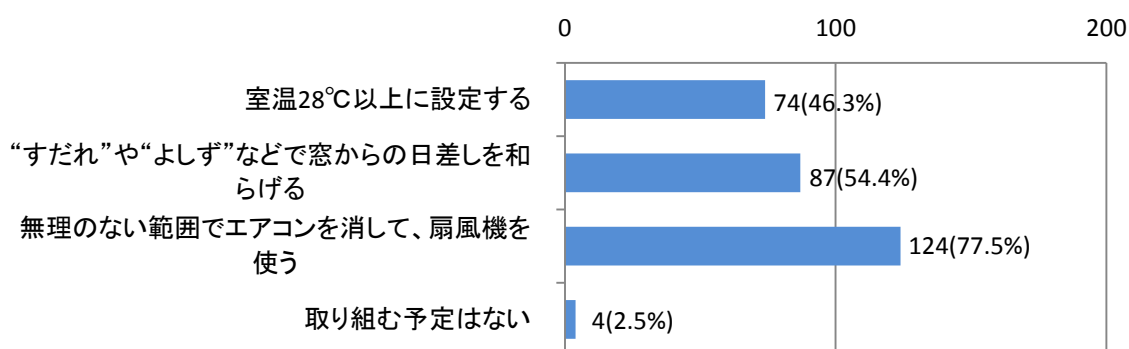


5 調査結果

○今夏にあなたの家庭で取り組もうと考えている対策をお答えください。(問1～問9)

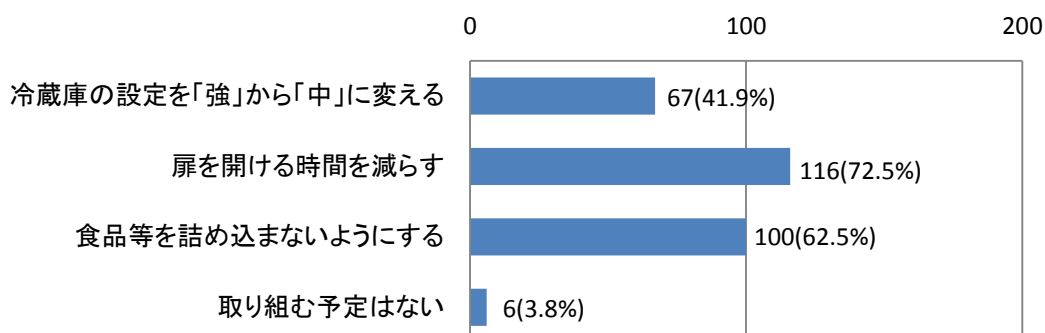
問1 エアコンについて（複数回答 回答者160人）

	人数	構成比
室温28℃以上に設定する	74	46.3%
“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげる	87	54.4%
無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う	124	77.5%
取り組む予定はない	4	2.5%
合計	289	



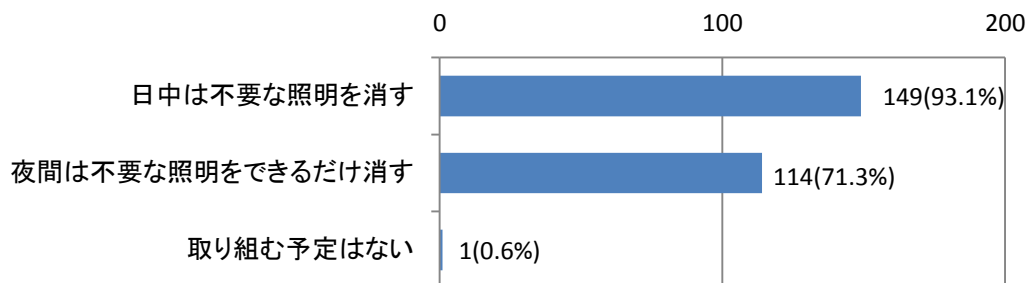
問2 冷蔵庫について（複数回答 回答者160人）

	人数	構成比
冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変える	67	41.9%
扉を開ける時間を減らす	116	72.5%
食品等を詰め込まないようにする	100	62.5%
取り組む予定はない	6	3.8%
合計	289	



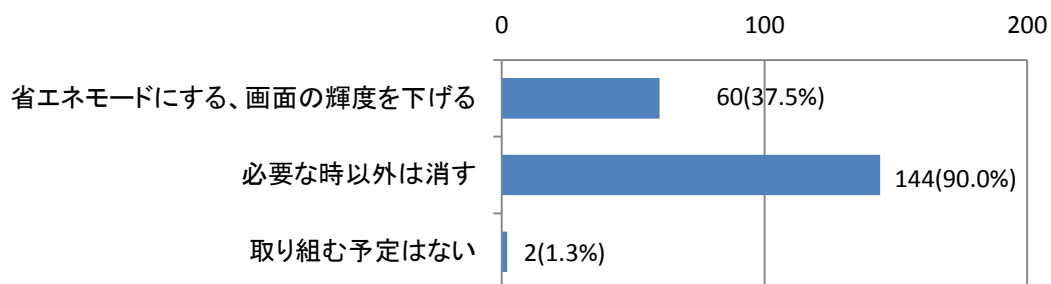
問3 照明について（複数回答 回答者160人）

	人数	構成比
日中は不要な照明を消す	149	93.1%
夜間は不要な照明をできるだけ消す	114	71.3%
取り組む予定はない	1	0.6%
合計	264	



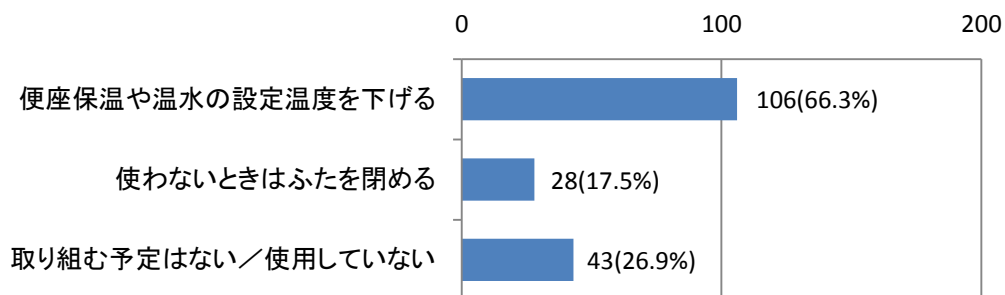
問4 テレビについて（複数回答 回答者160人）

	人数	構成比
省エネモードにする、画面の輝度を下げる	60	37.5%
必要な時以外は消す	144	90.0%
取り組む予定はない	2	1.3%
合計	206	



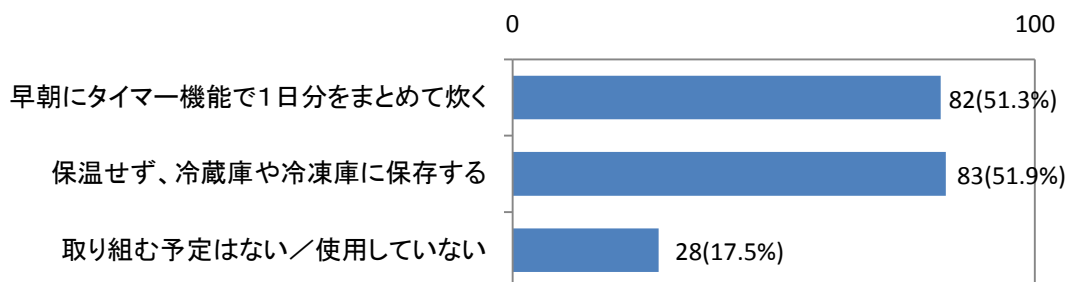
問5 温水洗浄便座について（複数回答 回答者160人）

	人数	構成比
便座保温や温水の設定温度を下げる	106	66.3%
使わないときはふたを閉める	28	17.5%
取り組む予定はない／使用していない	43	26.9%
合計	177	



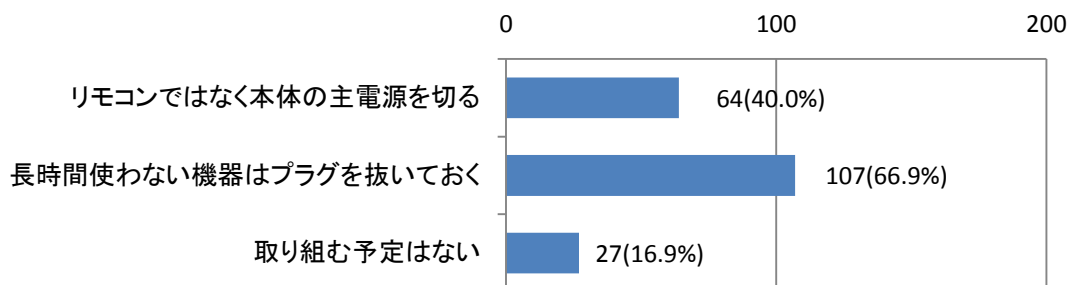
問6 ジャー炊飯器について（複数回答 回答者160人）

	人数	構成比
早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊く	82	51.3%
保温せず、冷蔵庫や冷凍庫に保存する	83	51.9%
取り組む予定はない／使用していない	28	17.5%
合計	193	



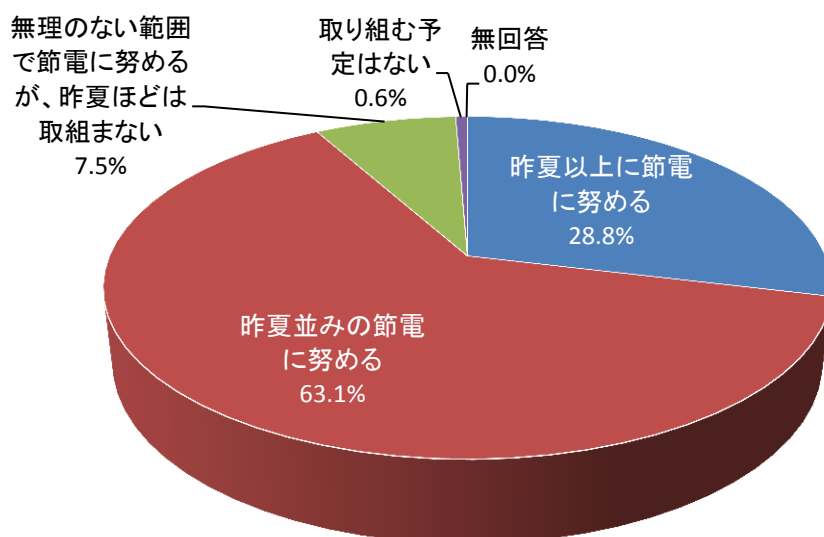
問7 家電の待機電力について（複数回答 回答者160人）

	人数	構成比
リモコンではなく本体の主電源を切る	64	40.0%
長時間使わない機器はプラグを抜いておく	107	66.9%
取り組む予定はない	27	16.9%
合計	198	



問8 政府が示す節電要請（無理のない範囲で、できる限りの節電）に対して

	人数	構成比
昨夏以上に節電に努める	46	28.8%
昨夏並みの節電に努める	101	63.1%
無理のない範囲で節電に努めるが、昨夏ほどは取組まない	12	7.5%
取り組む予定はない	1	0.6%
無回答	0	0.0%
合計	160	100.0%



問9 節電意識の定着について（東日本大震災前と比較して）

	人数	構成比
とても定着した	50	31.3%
無理なく節電できる項目については定着した	94	58.8%
年月が経過するにつれ、意識が低下している	12	7.5%
震災前と変わらない（または、震災前より低下した）	4	2.5%
無回答	0	0.0%
合計	160	100.0%

